

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名		アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業		担当部署	市民環境部 「第九」ブランド化推進室 企画総務部 戦略企画課 教育委員会 学校教育課	
総合計画体系				根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業期間	開始	平成 <input type="text" value="25"/> 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると				終期
(小項目)		シティプロモーション				
施策	2	シティプロモーションの推進				
基本事業	1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内外						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	1918年6月1日、板東俘虜収容所において、ドイツ兵捕虜がアジアで初めてベートーヴェンの「第九」交響曲を演奏した。またこれを記念し、昭和57年から市民による「第九」の演奏会が続けられている。こうした国内外に誇るべき背景を持つ「なると第九」をブランド化することで、市内外へ周知・啓発を進め、交流人口の拡大を図る。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	①「なると第九」に関する観光産業化を推進 ②将来の「なると第九」を担う次世代の育成 ③「なると第九」を市内外に周知啓発PRの推進 ④「第九」演奏会及び関連行事の実施						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		ドイツ館周辺への来訪者数	70,250	75,250	85,250	-	-	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①観光産業化推進(FMラジオ番組制作、ウォーキングイベント開催、「なると第九」記録動画作成、イルミネーション設置等) ②次世代育成(幼小中での「なると第九」現地学習・歴史学習・合唱講習、ジュニア演奏会実施準備) ③啓発PR(小中での映画「バルトの楽園」上映、巡回パネル展開催、県内外イベントでのPR活動、広報啓発グッズの作成配布等) ④演奏会実施(文化会館演奏会、大塚国際美術館演奏会、アフター交流会)						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 俘虜収容所跡地周辺施設改善箇所数(延べ)	14	14	14	-	-	箇所	
	2 「なると第九」講習を受けた市民の数	1061	1066	600	-	-	人	
	3 PRイベント実施回数	22	24	22	-	-	回	
	4 「第九」演奏会関連行事実施回数	6	6	10	-	-	回	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ドイツ館周辺への来訪者数	76,050	82,829	-	-	-	人	
	目標達成率(実績/目標)		110.1	-	-	-	%	
今年度の進捗状況		計画どおり			事業全体の進捗状況		計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	10,469	0	0	0	10,974	21,443
		補正予算額	0	0	0	110	1,590	1,700
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	10,469	0	0	110	12,564	23,143
		決算額	10,001	0	0	110	11,327	21,438
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		3.5	1.0		27,811		49,249	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	16,644	21,438	49,973	未定	未定
	うち一般財源	244	11,327	16,769	未定	未定
	人件費	24,966	27,811	27,811	未定	未定
	総事業費	41,610	49,249	77,784	未定	未定

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		事業の活動によりドイツ館や板東俘虜収容所の史実を知る人が増え、来訪に繋がった
	効率性	A:効率的だった		事業量が増加する中限られた人員と予算で対応した
②成果に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数		ドイツ館や道の駅などの集客がいずれも増加し、目標値を上回る実績となった。
	目標	75,250	人	
	実績	82,829	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		項目①②のとおり

◎今後の方向性(ACTION)

課題	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト実施計画を基に、施策の具体的な実施内容及び事業経費を検討し、計画的にプロジェクトを産学官民連携のもと推進していく必要がある。特に、平成30年度は「第九」アジア初演100周年の年であり、プロジェクトの最終年でもあるため、記念イベントや演奏会等を実施する必要がある。また、これらを題材に市内外へより広くPRをしていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	①観光産業化推進(収容所周辺ウォーキングイベント開催・メディア放送等) ②次世代育成(小学校「なると第九」現地学習・合唱講習、ジュニア演奏会実施) ③啓発PR(巡回パネル展開催、県内外イベントでのPR活動、広報啓発グッズの作成配布、メディアを活用した広報活動、美術工芸展覧会の再現等) ④演奏会実施(100周年記念演奏会、6月1日演奏会、アフター交流会等)			
	H31年度	-			